

若いつる

編集・発行

 真鶴町青少年育成連絡会
 真鶴町教育委員会

TEL 0465-68-1131

目次

- ★ 小中学生グローバル人材育成事業…1P
- ★ 放課後子どもいきいきクラブ・まなづる土曜教室…2P
- ★ 子どもフェスティバル「海と山の子どもたちの交流会」…3P
- ★ 二十歳の集い～20祭～・秘密基地づくり…4P

 今年度開催された、
 主な青少年関係事業の
 報告を掲載していま

小中学生グローバル人材育成事業

真鶴町小中学生グローバル人材育成事業は、東京都にある東京グローバルゲートウェイに中学生を派遣し、2年目となります。今年度からは中学2年生だけではなく、小学5年生からも参加者を募集し17名の児童が参加しました。小学生は事前研修の場で外国人留学生（ICU）との交流を通して英語に親しみ本研修に臨みました。その成果もあり、本研修（8/20(水)開催）では物怖じせず、外国人スタッフに話しかけ、英語に身振り手振りを加えてコミュニケーションを楽しんでいました。中学生は10名の参加があり、外国人留学生との交流を通じた2回の事前研修を行い本研修（12/26(金)開催）に臨みました。事前研修の成果を試すように自分から積極的に英語コミュニケーションにトライしていました。中学生は事後研修として、ひなづる幼稚園に出向いての簡単な英語を使ったゲームで園児との交流をしたり、外国人留学生と真鶴なぶら市に参加し、英語での絵本の読み聞かせを翻訳してお客さんに伝えたりしました。アンケートには「様々な国の文化に触れ言語への理解を深められた。」との感想もあり、充実した時間を過ごせたことを窺い知ることができました。研修に参加した児童生徒たちがこの経験を、今後の学校生活や日常の生活に活かしていくことを願っています。



東京グローバルゲートウェイでの本研修。



真鶴なぶら市に参加し町民の方とも交流しました。

♪放課後子どもいきいきクラブ♪

放課後子どもいきいきクラブは、放課後に学年の異なる子どもたちが色々な遊びや体験活動を通じて、仲間と一緒に遊ぶことの楽しさや、仲間づくりの大切さを学ぶこと等を目指して行っています。2025年度は43名の登録があり、週2日放課後に公民館、地域センターで1年間様々な活動を実施しました。1学期に「ポッチャ」を学び、2学期にはゆめクラブのみなさんとポッチャ対決で盛り上がりました。また、久しぶりの「お菓子作り」も開催することができ、ホットプレートで焼いたホットケーキを思い思いにデコレーションし、自分だけのホットケーキを美味しく食べることができました。その他にも講師の方や学芸員の協力を得て「手話を学ぼう」「マジックショー」「救急のはなし」「海の教室」「フライングディスク」「坊主めくり」など、例年人気の活動から初めての活動まで幅広く開催することができました。子どもたちが安全に楽しく活動ができるのも、地域の方々の協力があるからこそだと感じています。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



ポッチャなら大人にも負けません



ホットケーキが美味しく焼けました

★まなづる土曜教室★



優しく丁寧に算数を教えてもらいました！



留学生とゲームを通して楽しく過ごしました！

まなづる土曜教室は、土曜日の子どもの安全で安心な居場所づくりや学校以外の場での学習機会の提供を目的に、小学6年生の登録児童14名を対象として国語、算数、英語等の学習を中心に活動しました。今年度からスタッフに現役大学生や高校生が正式に加わり、年齢の近いお兄さんやお姉さんに教えてもらう子どもたちは親しく楽しそうな様子で過ごしていました。こうした若い世代を中心とした青年層と子どもたちの交流の場は、町内に高校や大学がない当町においては貴重な場になっていると考えています。また、年間を通して複数回にわたり外国人留学生（ICU）との交流会も実施しました。ゲームや軽スポーツを通して知っている単語や身振り手振りで自分の思いを伝えようとする姿が見られ、思いが通じたときにはとても嬉しそうな顔を見せてくれたことが印象に残っています。これからも子どもたちが楽しく学習し、賑やかに活動できるようにスタッフの皆様と色々なアイデアを考えてまいります。

～子どもフェスティバル「海と山の子どもたちの交流会」～

教育委員会では、小学校の夏季休業期間中や冬季に様々な体験を通して、青少年の健全育成を図るために子どもフェスティバルとして多くの事業を展開しています。2025年度については夏に15事業を、冬に3事業をそれぞれ実施しました。どの事業も子どもたちの楽しそうな顔や賑やかな声であふれていました。こうした充実した内容の事業にできたことは、ご協力いただいた皆様のおかげと深く感謝しています。今回は、長野県安曇野市と東京都西多摩郡檜原村へ子どもたちが訪問し、それぞれの地域ならではの体験を通して交流した「海と山の子どもたちの交流会」の様子をお伝えします。

8月7・8日の1泊2日で長野県安曇野市へ真鶴町の小学生20名が訪問し、安曇野市の小学生15名と安曇野市ならではの体験事業を通して交流を深めました。

豪華な歓迎を受けながら安曇野市へ到着し、初日は天候の関係で予定変更となりましたが、大王わさび農場の見学とバーベキューを通して親睦を深めました。1日目夕食のバーベキューの時間にはすでに仲良くなっており、就寝時間を過ぎても楽しい話し声は止まりませんでした。

2日目には朝早く起きて朝風呂から活動が始まる児童もいて、川遊びとオオルリシジミの模型作りを行った後はみんなへとへとでした。川遊びでは海とは違う水の冷たさに驚く様子が見られました。



8月22日に東京都檜原村へ真鶴町の小学生19名が訪問し、檜原村の小学生16名と川遊び体験を通して交流を深めました。

道路状況が悪く、到着が遅れてしまいましたが、檜原村の皆様が川で歓迎をしてくれており、子どもたちは急ぎ足で着替えを済ませました。

初めてのマス釣り体験に真鶴の子どもたちは苦戦していましたが、檜原の子どもたちと交流をしながら、しだいに「釣れた！」という喜びの声が聞こえるようになりました。昼食のマスの塩焼きは大盛況で、おかわりをして3匹食べる子もいました。

後半はマス釣りや川遊びを体験し、水の掛け合いや鬼ごっこなどをして、檜原村の川を堪能しました。

交流会の別れの際に来年の再会を約束したり、これまでの思い出を語り合うなど、この交流会は子どもたちにとってこの時限りの体験ではない、これからも続く貴重な関係をつくる体験になっていました。来年度は真鶴町に来町した安曇野市と檜原村の子どもたちにお返しができるよう、準備をしていきます。



真鶴町二十歳の集い～20祭～

2026年1月12日(月)、22名の新しく二十歳となった若人が参加して「真鶴町二十歳の集い～20祭～」を開催しました。

式典では議会議長、町長、県議会議員よりこれから未来に羽ばたく後輩たちにお祝いの言葉が述べられ、参加者は熱心に耳を傾けていました。新二十歳代表の伴野花帆さん、小澤夏希さんからのあいさつは、関係者や来賓の方々に敬意を表し、地元、家族、友人、これまで支えてくださった方々への感謝が盛り込まれていました。また、当時辛かったことなど、自分の経験を話したうえで、支えてくれた友人・家族・教員とのかけがえのない思い出と感謝を伝える素晴らしいものでした。



～式典の様子～



～記念写真～

式典後には恩師の先生方を招いて実行委員会が企画したビンゴ大会、小中学校時代を振り返るスライドショーの上映、振り返りクイズを内容とするアトラクションを実施し、旧友との再会に思わず笑顔があふれていました。恩師の先生方があいさつをすると歓声があり、スライドショー・クイズ大会では、悩む姿もありながらも、クイズによって思い出される思い出によって大変盛り上がっていました。

アトラクションの後には町民センター正面玄関前で記念撮影を行い、後日記念品として贈呈されました。若人のこれからのご活躍を心からご祈念いたします。

秘密基地づくり

2026年2月15日(日)に芝浦工業大学空き家改修プロジェクト真鶴設計室に所属する大学生と真鶴の小学生がひみつ基地を作成しました。真鶴町は、小学生と大学生との交流の場が少ないですが、作業を通じて多くの交流ができました。建築系を学んでいる大学生のアドバイスにより、作成の途中で強度の不安から片筋交いが、重心の偏りから交差筋交いが入りました。予定より倍ほどの重量になり、8人の力が移動に必要でした。2月20日に展望公園に設置し、その後子どもが遊べるように土日に設置と一時撤去を繰り返す予定でしたが、23日の春一番の強風には耐えられず破損してしまい、24日に安全上の理由から残念ながら撤去しました。ご協力いただいた大学生の皆様ありがとうございます。次回開催の際は、春一番にも耐えられる強度の秘密基地を期待しています。

～秘密基地完成集合写真～

